



コロナ禍による入場制限のもとで応援するファンたち



株式会社栃木ブレックス
代表取締役社長 藤本光正さん



今季も毎試合、ファンとともに戦う宇都宮ブレックス



特集2 / 【連載】プロスポーツチーム 宇都宮ブレックス

チームの魅力を アグレッシブに発信 スローガンは「BEYOND」

宇都宮市をホームタウンとするプロスポーツチームの、コロナ禍への対応や地域とのかわりについて連載します。
第1回目は宇都宮ブレックスです。



©TOCHIGI BREX INC.

また、経営を見返すきっかけにもなつたと思います」
それは経費削減や組織の見直しなどによる「効率化」と、本格的な動画配信やオンラインを活用したトークイベントなどによる「新たな強みの獲得」でした。特に後者は、これまで重視していた「アリーナで試合を生で観てもらおう」ことに加えて、動画の配信などで魅力を伝え、ファンを拡大することを目的としていました。藤本社長は「オンラインとリアルハイブリッド」と表現し、「オンラインという新たな強みを獲得できた」と話します。
「ブレックスは以前から地域貢献活動に積極的に取り組んできましたが、コロナ禍でもさまざまな制限がある中で、子どもや高齢者に向けた健康教室を開催するなど、貢



©TOCHIGI BREX INC.

「#街中ブレックスプロジェクト」に、Tシャツ着用やポスター掲示などで地元企業が協力(上は株式会社コジマ、下は株式会社銀行)

献の幅をさらに広げてきました」
以前の取り組みに加え、コロナ禍で新たに獲得した強みでチームの基盤はさらに強くなりました。
「東京オリビックや3x3国際大会の宇都宮開催など、バスケットボール人気が高まっています。このチャンスに、地域や地元企業とのコラボレーションをさらに進めたいと考えています。商工会議所と連携できるとより大きな効果を得られると思います」
チームの今季スローガンは「BEYOND(超える・越える)」。よりアグレッシブに活動し、新しい強みを生かしてコロナ禍を乗り越えていこう——そんな想いが伝わってくるスローガンではないでしょうか。
※第2回は2月号に掲載予定



日本人初のNBAプレイヤー#0 田臥勇太選手
ブレックス在籍14シーズン目
今季もキャプテンとしてチームを引っ張っている

緊急事態宣言が解除され、大通りやオリオン通りをはじめとする商店街にも少しずつ活気が戻りつつあります。
久しぶりに中心部の商店街へ足を延ばし、買い物や飲食を楽しんでいる方もいらつしやるでしょう。
そんな時「宇都宮ブレックスをよく目にするな」と感じた方も多いのではないのでしょうか。
宇都宮市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」の藤本光正社長が、笑顔で答えてくれました。
「私たちは宇都宮のチームとして、コロナ禍で暗くなりがちな社会を明るくすることはできないかと考えました。そこで実施したのが「#街中ブレックスプロジェクト」です。
9月末のシーズン開幕に合わせて、企業や商店街の皆さまご協力のもと、ブレックスのTシャツを着用して

いただいたり、ポスターやのぼりを掲示する事で街をブレックスカラーに染めていただきました」
市内にブレックスを身近に感じられるスポットが多数生まれ、ファンがSNSによって拡散。その活気の広がりは県内だけにとどまりませんでした。「私たちは事業規模としては小さいですが、地域や社会に与える影響力は大きいと思います。スポーツの力を借りて、地域へ恩返しができるようにしたいですね」と藤本社長は語ります。
2020・21シーズンは、それまで右肩上がり成長してきたブレックスにとって試練の年となりました。コロナ禍により、シーズンが早期終了した2019・2020シーズンの影響が続き、チームの活動も制限され、苦しい1年となりました。
「コロナ禍でもファンとふれあえるようにさまざまな工夫をしました」

宇都宮ブレックス

株式会社栃木ブレックス

宇都宮市駒生2-10-28

☎028-612-6735

<https://www.utsunomiyaブレックス.com>



2019年にブレックスに加入した
#6 比江島慎選手
日本代表として東京五輪出場
リーグ屈指の人気選手



©TOCHIGI BREX INC.

UTSUNOMIYA BREX